

# 横浜市感染症発生動向調査報告(令和8年4月)

委員会開催日(2026年4月23日)時点のデータになります。

## 《今月のトピックス》

- 麻しんは国内感染例の報告が続いています。
- 梅毒は20～40歳代を中心に幅広い年齢層で患者が多く報告されています。引き続き注意が必要です。

◇ 全数把握の対象 <2026年3月23日～2026年4月19日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	4件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	5件
E型肝炎	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
A型肝炎	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
エムポックス	4件	水痘(入院例に限る)	3件
レジオネラ症	3件	梅毒	34件
アメーバ赤痢	4件	百日咳	9件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2件	麻しん	2件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4件		

1. **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～50歳代で、O血清群はO157が1件、O26が1件、O不明が2件です。無症状病原体保有者は1件です。感染経路等は接触感染と推定される報告が1件、経口感染と推定される報告が1件、不明が2件です。
2. **E型肝炎**:70歳代で、感染経路等は経口感染と推定されます。
3. **A型肝炎**:40歳代(ワクチン接種歴無)で、感染経路等は性的接触感染と推定されます。
4. **エムポックス**:30歳代～40歳代で、感染経路等は4件とも接触感染と推定されます。
5. **レジオネラ症**:50歳代～90歳代で、3件とも病型は肺炎型で、感染経路等は水系感染と推定される報告が2件、不明が1件です。
6. **アメーバ赤痢**:60歳代～70歳代で、病型は3件が腸管アメーバ症、1件が腸管と腸管外アメーバ症です。感染経路等は性的接触と推定されるのが2件、不明が2件です。
7. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:60歳代が2件で、感染経路等は医療器具関連感染と推定される報告が1件、その他と推定される報告が1件です。
8. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:30歳代～90歳代で、血清型はA群が2件、G群が2件です。感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が1件、創傷感染と推定される報告が2件、不明が1件です。
9. **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:20歳代～60歳代で、病型は無症状病原体保有者が5件です。感染経路等は性的接触(同性間)と推定される報告が4件、不明が1件です。
10. **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:70歳代～80歳代(ワクチン接種歴不明2件)で、感染経路等は不明の報告が2件です。
11. **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳代～80歳代(ワクチン接種歴4回1件、無1件、不明2件)で、感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が3件、その他と推定される報告が1件です。
12. **水痘(入院例に限る)**:10歳代～80歳代(ワクチン接種歴2回1件、不明2件)で、病型はすべて臨床診断例です。感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が1件、不明の報告が2件です。
13. **梅毒**:10歳代～60歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期16件、早期顕症梅毒Ⅱ期9件、無症状病原体保有者が9件です。感染経路等は性的接触による感染と推定される報告が30件(異性間22件、同性間2件、詳細不明6件)、不明の報告が4件です。
14. **百日咳**:10歳未満～50歳代(ワクチン接種歴不明9件)で、感染経路等は不明の報告が9件です。
15. **麻しん**:20歳代～30歳代(ワクチン接種歴無2件)で、検査診断例が2件です。感染経路等は不明の報告が2件です。

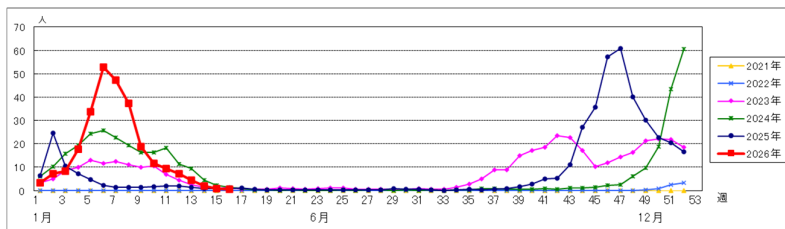
◇ 定点把握の対象

※ 2025年第14週(3月31日～4月6日)以降、小児科定点は94→51、内科定点は59→39医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2026年第13週	3月23日～3月29日
第14週	3月30日～4月5日
第15週	4月6日～4月12日
第16週	4月13日～4月19日

1 インフルエンザ

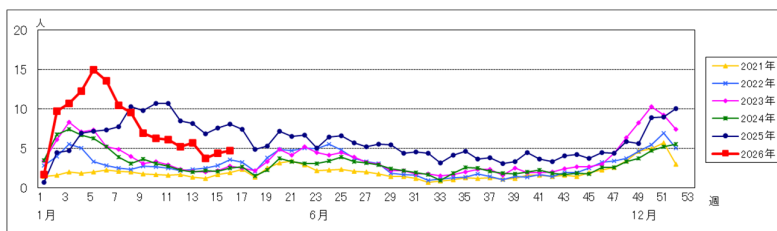
2025年第43週(10月20日～10月26日)に流行注意報(10.00)、第45週(11月3日～11月9日)に流行警報(30.00)の発令基準を超えました。その後増加が続き、第47週(11月17日～11月23日)に60.78で1回目のピークを迎えました。その後は



減少傾向でしたが、年明け以降再び増加に転じ、第4週に流行注意報、第5週に流行警報の基準を再び超えました。第6週に52.73で2回目のピークを迎え、以降減少しています。第16週は0.57です。

2 感染性胃腸炎

2025年第46週(11月10日～11月16日)以降増加傾向が続き、2026年第5週に14.98でピークを迎えました。以降は減少傾向で、第16週は4.70です。



3 性感染症(2026年3月)

性器クラミジア感染症	男性:33件	女性:25件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:20件	女性:14件
尖圭コンジローマ	男性:15件	女性:6件	淋菌感染症	男性:18件	女性:2件

4 基幹定点週報

	第13週	第14週	第15週	第16週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.25
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.25	0.00

5 基幹定点月報(2026年3月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	21件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2026年第13週～第16週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点110件でした。

5月1日現在、表に示した各種ウイルスの総数94件(うち分離総数24件)が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2026年第13週～第16週)

診断名	検出・分離ウイルス	総数	うち分離数
ARI	インフルエンザウイルス B (ビクトリア系統)	25	24
	インフルエンザウイルス A (型未同定)	1	
	ライノウイルス	31	
	ライノウイルス またはエンテロウイルス	2	
	ヒトメタニューモウイルス	14	
	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	10	
	RS ウイルス	5	
	パラインフルエンザウイルス 1 型	2	
	パラインフルエンザウイルス 3 型	2	
	パラインフルエンザウイルス 4 型	1	
	アデノウイルス 5 型	1	
	合 計	94	24

【 検査研究課 微生物(ウイルス医動物)担当 】

〈細菌検査〉

2026年第13週～第16週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症3件(*Escherichia albertii* 含む)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症4件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4件、侵襲性肺炎球菌感染症1件、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、腸管出血性大腸菌感染症疑い1件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からブルセラ症疑い1件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎8件、感染性胃腸炎1件、「ARI 定点」から3件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2026年第13週～第16週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
保健所	腸管出血性大腸菌感染症	3	O103:H2 VT1 O66:H- VT2 <i>Escherichia albertii</i> VT2	(1) (1) (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	<i>Klebsiella oxytoca</i> <i>Klebsiella pneumoniae</i> <i>Escherichia coli</i> <i>Enterobacter cloacae</i> complex	(1) (1) (1) (1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 G群溶血性レンサ球菌	(1) (3)
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 24型	(1)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	<i>Haemophilus influenzae</i> 型別不能	(1)
	腸管出血性大腸菌感染症疑い	1	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	(1)

分離同定	項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所	ブルセラ症疑い	1	血清	抗ブルセラ抗体 陰性 (1)

小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
小児科定点	咽頭ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 (6) A群溶血性レンサ球菌 T1 (1) A群溶血性レンサ球菌 T6 (1)
	直腸ぬぐい液	感染性胃腸炎	1	<i>Campylobacter jejuni</i> (1)

ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
ARI定点	咽頭ぬぐい液	ARI	3	A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 陽性 (1) 溶血性レンサ球菌 培養 陰性 (2) 肺炎マイコプラズマ遺伝子 陰性 (3) 百日咳菌遺伝子 陰性 (3) 百日咳菌培養 陰性 (3)

【 検査研究課 微生物(細菌)担当 】